

東京都新宿区における自動二輪車の駐車実態分析

日本大学 学生会員 ○外山 大地

日本大学 正会員 小早川 悟

1. はじめに

平成18年に施行された道路交通法の改正により駐車監視員の民間委託が開始され、より厳密な駐車取締りが行われている。それに伴い四輪車だけでなく、自動二輪車の違法駐車取締りも厳しく行われてきている。一方で、路外駐車場の自動二輪車の駐車スペースは、十分に確保されていないとの指摘もあるが、その駐車スペースが有効活用されているかは不明である。

そこで、本研究では、路外の駐車スペースと路上の自動二輪車の駐車実態を分析することで、今後の自動二輪車の駐車対策の課題を明らかにすることを目的とする。

2. 自動二輪車の駐車実態調査

本研究では、商業施設が多く存在し、地区内に二輪車用駐車スペースを持つ駐車場が存在しているにもかかわらず、路上駐車が深刻な問題となっている東京都新宿区の靖国通り周辺地区を対象に、二輪車の路上駐車および路外駐車場の駐車実態調査を実施した。

この地区内に存在する地下の路外駐車場には、二輪車用の駐車スペースが60台分確保されており、1時間当りの駐車料金は210円となっている。なお、路上においては車道に面した歩道上の一部に50cc以下の二輪車用および自転車の駐輪スペースが確保されており、この中に自転車と並んで多くの自動二輪車が駐車している。さらに、通行止めとなっている道路上には、自動二輪車が多数存在している。そこで本研究では、この地区内に駐車している自動二輪車の駐車実態を把握するため表-1に示した、ノンプレート式断続駐車調査とアンケート併用プレート式連続駐車調査を行った。

表-1 調査概要

調査日時	2009年9月26日(土)、10月13日(火) 9:00~19:00
調査場所	東京都新宿区歌舞伎町1丁目、新宿3丁目の幹線道路および新宿サブナード駐車場内
調査内容	ノンプレート式断続駐車調査: 駐車場所、駐車時間、車種 アンケート併用プレート式連続駐車調査: 駐車位置、駐車時間、駐車形態、二輪車の利用理由、路上駐車の理由等

3. 東京都新宿区靖国通り周辺の現状

(1) 瞬間路上駐車台数と路外駐車場の現状

図-1と図-2は、平日と休日の調査対象地区内の瞬間路上駐車台数と瞬間路外駐車台数を示したものである。路上駐車台数は、午前よりも午後の方が多く、時間が経つにつれて瞬間駐車台数が多くなっている。また、排気量別でみると、平日と休日ともに50cc以下が最も多く、次に125cc超~250ccが多かった。一方、路外の駐車場の最大利用率は平日は30%、休日は25%と決して高いとはいえない。また、排気量をみると、この路外駐車場を主に利用しているのは、125cc超以上の自動二輪車であり、休日においては250cc超以上の大型の自動二輪車の利用台数は高くなっている。

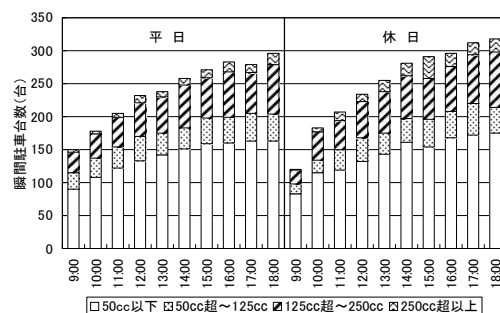


図-1 平日と休日の新宿区の瞬間路上駐車台数

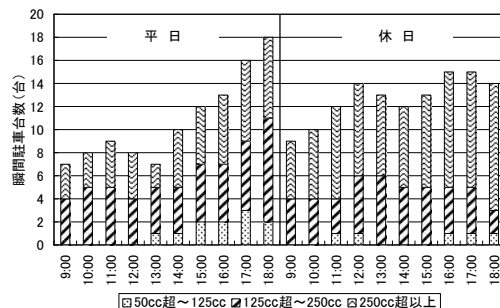


図-2 平日と休日の新宿区の瞬間路外駐車台数

(2) 瞬間路上駐車台数と路外駐車場の比較

今回の調査対象地区では、自転車や50cc以下の二輪車には、路上において自転車置場が存在している。そこで、仮に50cc超以上の路上駐車しているすべての自動二輪車が、この路外駐車場を利用した場合の収容可能性について分析を行った。図-3は、平日と休日の

キーワード 二輪車, 駐車実態, 駐車需要

連絡先 〒274-8501 千葉県船橋市習志野台7-24-1, TEL/FAX: 047-469-5242

